

授業改善プラン

油面小学校 第5学年授業改善プラン

	1課題となる領域等	2年間指導計画	3単元指導計画
国語	【領域：書くこと】 (観点：思考・判断・表現) <u>既習事項との関連</u> ・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	①固有種が教えてくれること グラフや表を用いて書こう 【情報】統計資料の読み方 (10月) ②読み手が納得する意見文を書こう「あなたは、どう考える」(12月)	①資料から分かる事実が明確になるように、デジタル教科書を活用し、資料の構成について整理する場面を設定する。 ①自身の文章を推敲するために、考えと理由やその根拠の関係について考え、交流する場面を設定し、図表やグラフの用い方や書き方を確認する。 ②説得力のある文章にするための自分の考えと根拠を明らかにして、読み手が納得する文章について確認する。 ②書き出しの例や事例の述べ方の例などを提示したり、反論などを想定させたりすることで、相手意識、目的意識をもたせる。
算数	【領域：B 図形】 (観点：思考・判断・表現) <u>既習事項との関連</u> ・直線や平面の平行や垂直の関係を理解している。(第4学年) ・面積の単位の仕組みを理解している。(第4学年)	① 平面図形の性質(7～9月) ② 立体図形の性質(2, 3月) ③ 平面図形の面積(12, 1月) ④ 立体図形の体積(4月)	①合同な図形をかく時間を設定し、図形の構成要素に着目しながら合同な図形のかき方を確認する。 ②直方体や立方体の体積を基にして問題解決したことを振り返り、面積の学習と統合的にとらえ、価値づける。 ③一人一人が既習内容に着目し面積を求める活動に加え、互いに考え方を紹介し追及しながら学び合う場を設定する。 ④共通の単位となる体積の大きさを確認し、その個数を基に「単位となる大きさの何こ分」として体積を数値化して比べることの理解を確実にする。
理科	【領域：物質・エネルギー】 (観点：思考・判断・表現) <u>既習事項との関連</u> ・乾電池の向きやつなぎ方を変えたときの電流の向きと強さを推測できる。	①ふりこのきまり (9月) ②電流がうみ出す力 (12月)	① 実験結果を基に、ふりがが1往復する時間のきまりを考え、自分なりの根拠をもって予想する活動の時間を確保する。 ② 磁石の強さの変化について、十分に実験して確かめる時間を設定し、電流の強さやコイルの巻き数の変化と関連付けて考え、まとめる時間を設定する。
社会	【領域：地理的環境と人々の生活】 (観点：知識・技能) <u>見方・考え方</u> 位置や空間的な広がり <u>既習事項との関連</u> ・世界の主な大陸や海洋、世界の主な国の名称と位置、世界の中の日本の位置関係などを理解している。	①日本の国土と世界の国々 ②国土の気候と地形の特色 ③自然条件と人々のくらし (4月～6月) ④自然災害とともに生きる (1月) ⑤森林とともに生きる (2月)	①世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを理解し情報を適切に調べまとめる活動を設定する。 ②我が国の国土の地形や気候の概要について理解し情報を適切に調べまとめる活動を設定する。 ③自然条件から見て特色ある地域の人々が、自然環境に適応して生活していることを理解し情報を適切に調べまとめる活動を設定する。 ④日本で発生した自然災害の種類や、被害の様子、発生場所に着目して、様々な自然災害の発生と国土の自然条件との関係について捉えることができる時間を設定する。 ⑤日本の国土の森林資源の分布、防災機能を果たす森林整備の取組に着目して森林と人々との生活について考えることができる時間を設定する。
外国語	【領域：聞くこと・読むこと】 (観点：知識・技能) <u>既習事項との関連</u> ・月、日付、教科に関わる語句を用いて、聞いたり伝え合ったりする。	①Unit4 He can bake bread well ②Unit5 Where is the post office? ③Unit6 What would you like? ④Unit7 Welcome to Japan ⑤Unit8 Who is your hero?	①～⑤毎回の授業で、曜日、日付、その日の時間割(教科)を言う活動を設定する。 ①⑤前期末と後期末には、インタビューテストを実施し、各期の学習を振り返る機会を設定する。